

# コラージュニ俣川

## 小規模多機能型居宅介護 サービス評価【2019年度】

◆自己評価 事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45～18 : 15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	0 人	7 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや申し送りの際、少人数になりがちのため、スタッフが多く参加できる時間での設定を行っていく。</li> <li>・ご利用者との対話や思いの傾聴をこれまで以上に行っていく。</li> <li>・利用相談や担当者会議の際、管理者とケアマネだけでなくスタッフも参加する。</li> <li>・ご利用の方法について常に柔軟に対応していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度のミーティングが定着してきた。</li> <li>・ご利用の方法について家族と連絡を取り合い、常に柔軟に対応している。</li> <li>・引き続き、利用者との対話や思いの傾聴を行っていく。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	0	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	0	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	11	0	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9	0	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ご本人や家族に聞き取りを行い、利用開始するに当たってまずどのような支援が必要なのかを考え、支援を提供できている。</li> <li>・新規の利用者に関する情報を朝礼やミーティングで共有できている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用相談や担当者会議には管理者とケアマネジャーしか参加できていない。</li> <li>・利用開始時に必要な支援を提供することはできているが、その次にどうしていくべきかを考える段階への移行がなかなか進んでいない。</li> <li>・朝礼後に出勤する遅番に対して朝礼の内容が十分に伝達されていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者に対して管理者、ケアマネジャーだけでなく職員も説明が出来るよう小規模多機能に対する理解を深めていく。</li> <li>・利用を始めて一か月の段階で利用者、家族と面談をして、その後の支援の内容を検討する。</li> <li>・その日のリーダーが出勤してきた遅番に朝礼の内容を伝達する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45～18 : 15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	0 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者の状況をしつかりと把握し、目標を考えた援助を常に行っていく。</li><li>ミーティングでの伝達事項をすべての職員が理解するために申し送りノートと毎朝夕の申し送りを継続していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>ミーティングでの伝達事項、特に重要事項に関しては各職員に伝わるまで繰り返し伝えていく。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	0	7	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	0	6	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6	0	6	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8	0	4	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ミーティングにてケアの実践内容を振り返り、次の対応を考えることができている。</li><li>利用者のその時々状況をミーティングや申し送りの中で共有し、ご本人や家族の不満などについて解決できることはすぐに解決できている。</li><li>本人の「～したい」という目標を諦めないよう言葉がけを行いサポートできている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>利用者の置かれている状況、ご家族の要望についてはスタッフ間で共有されているが、ご本人の「～したい」という目標については理解が不十分である。</li><li>伝達事項は以前より把握できているが、まだ漏れや伝達不足がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>ご家族の「こうしてほしい」とご本人の「～したい」は異なる場合が多いため、お互いの思いを理解しつつ、可能な限りご本人の「～したい」の実現のために援助していく。</li><li>申し送りノートや朝礼などを通して重複してもよいので何度も伝達事項を繰り返し伝え、職員全体が理解、共有できるようにする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45～18 : 15)

3. 日常生活の支援

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	0 人	3 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者やその他の変化については記録をきちんと残し、スタッフ全員に伝達する。</li> <li>ご利用者それぞれが今望んでいることを理解し、状況に合わせた対応を行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者やその他の変化については記録を残し、申し送りノートや朝の申し送り時に伝える。</li> <li>管理者に伝えるときはメモやメールで伝えるようにしていく。</li> <li>引き続き利用者が何を望んでいるかを理解し、状況に合わせた対応を行っていく。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	5	0	7	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	0	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	0	7	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	0	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	0	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が利用者を良く観察し、顔色や顔つき、行動や言動など利用者の些細な変化に気づけている。また、その情報を申し送りノートや朝礼、ミーティングを通して職員間で共有できている。</li> <li>その日の体調に合わせて食事・入浴に注意し、便秘が続く方、熱がある方には水分を多く摂取して頂くよう努めている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に不満を言ってくれる利用者と比べて、あまり発言せず自分で抱え込んでしまう利用者の声にならない声は十分に汲み取れていない。</li> <li>現状への対処が優先されているため、そこに至るまでの以前の暮らしに対する理解が浅く、押し付けの介護になってしまっている場面がある。</li> <li>その日の変化に気づいても、介護記録などへの記入を忘れてしまい結果として情報が共有されていないことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり発言しない利用者に対しても声かけを続けていき、入浴や送迎時などの職員と一対一になる時間にご自分の思いを吐き出すことのできる機会を作っていく。</li> <li>フェイスシートなどに記載されている利用に至るまでの経過を読み、更にご本人や家族に以前の暮らしについて再度聞き取りを行い、支援を行っていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45 ~ 18 : 15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	0 人	7 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>• すべてのご利用者の主治医との関係を深め、利用者の情報を共有する。</li><li>• ご本人に地域との関わりについて詳しくお聞きする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>• 利用者の主治医や薬局との連携により、利用者の変化に対応できている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	0	7	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	8	0	4	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	0	9	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>• ご本人の要望に応じて主治医に薬の変更を働きかけたり、主治医自体を変更したりと地域で暮らしていく上で必要な支援が来ている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>• 地域との繋がりが希薄な利用者も増えており、その場合ご本人が地域で暮らす支援というものがイメージしづらいケースがある。</li><li>• 日中ご家族が就労しており、ご本人の暮らしぶりを把握しづらいご家庭もある。</li><li>• ご本人の認知症症状などの病態により人間関係を把握するのが難しいことがある。</li><li>• ご本人と家族、地域、主治医との関わりを知るための情報が不足している。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>• 月に一回のご家族との面談内容などを積極的に情報共有していく。</li><li>• 訪問だけでなく通いに来てくれるような働きかけを続けていき、日中の様子を把握できるよう努める。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45 ~ 18 : 15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	0 人	7 人	0 人	12 人

前回の改善計画

- ・ご利用者の変化を感じた時にはその場で他のスタッフに伝え、対応を相談する。
- ・日々の中にご利用者のニーズを考えた支援が出来る様にする。
- ・定期的なボランティアによるレクリエーションの導入。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の変化を感じた時にはその場で他のスタッフに伝え、チームで対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	0	1	0	12
②	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	0	3	0	12
③	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	0	2	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人の変化に合わせて当初の利用予定を変更して通い・訪問・宿泊のサービスを適切に提供できている。
- ・ご本人の発熱、便秘、皮膚の状態などケアの中で発見した内容を申し送りやミーティングで共有できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所の持っている機能は最大限発揮できているが、地域にある機能は十分に利用できていない。
- ・ボランティアは常々利用したいと考えているが、実際の利用には繋がっていない。
- ・記録が不十分で、気づきに繋がらないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・自分たちの力だけで無理にレクリエーションを提供しようとせず、地域の公園に出かける、買い物に行く、ボランティアをお願いする、といった地域の資源を柔軟に利用していく。
- ・ご本人に変化があった場合、担当職員はすぐにその情報を他の職員と共有し、その時、その状態に合わせてチームケアを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45～18 : 15)

6. 連携・協働

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	0 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の状況に合ったイベントの情報収集を行う。</li> <li>地域の交流会等に積極的に参加する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの情報収集は行っているが、なかなか参加できていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	6	0	6	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	0	6	0	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	7	0	5	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議に参加されている自治会長から自治会のイベントなどを随時教えて頂いており、以前は利用者と一緒に参加していたお祭りなども職員だけ参加して撮った写真を利用者に見せるだけでも地域との繋がりになるのではないかという意見も頂き、実行に移している。</li> <li>困難事例については地域ケアプラザ、区役所と連携しながら対応できている。</li> <li>他のサービス機関との会議は管理者、ケアマネジャーが出席しており、職員にも随時情報提供がなされている。</li> <li>旭区の地域連絡会に出席し、区内の事業所などと情報交換を行っている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者、ケアマネジャー以外は他のサービス機関との会議には参加できていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>参加可能であれば職員だけでなく利用者も一緒に地域に出て行って活動やイベントに参加し、利用者の生活環境を理解する。</li> <li>他のサービス機関との会議に職員も参加する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45 ~ 18 : 15)

7. 運営

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	0 人	3 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣での買物や散歩などの機会を増やし、外部と接する機会をつくる。</li> <li>・誰もが意見を言えるようなミーティングにしていく。</li> <li>・ご利用者や家族等からのご指摘については時間を置くことなくすぐに対応を話し合い実践する。</li> <li>・事業所のアピールのために引き続き、コラージュ新聞やパンフレット等を自治会を通して配布する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣での買い物や散歩などの機会は増えている。</li> <li>・利用者や家族からの指摘については、すぐに対応できるようにしている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	12	0	0	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	0	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	0	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物や散歩など、地域に出かけていく機会は増えておりリフレッシュできている。</li> <li>・利用者や家族からの指摘はすぐにミーティングで話し合い、対応できている。</li> <li>・コラージュ新聞も運営推進会議の参加者の意見を反映し、洗練されてきている。</li> <li>・送迎時など利用者宅周辺では特に挨拶、気配りを忘れないようにしている。</li> <li>・ミーティングで疑問、意見など発言できている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議以外に地域の方からの意見を頂く機会があまりない。</li> <li>・運営推進会議で出た意見、検討事項について職員が話し合うことが出来る時間が必要である。</li> <li>・伝達事項が全員に伝わっていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の内容を職員も見られるようにする。</li> <li>・コラージュ新聞だけでなく、地域の方に認知してもらえるような活動を取り組んでいく。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45 ~ 18 : 15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	0 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのスキルに合わせた研修の情報を得て、スタッフに開示して参加する。</li> <li>自分の役割をしっかりと認識して行動し報告していく。</li> <li>職場内での中堅職員による新人職員への指導など研修をきちんと出来るようにする。</li> <li>ヒヤリハットの段階で対策を考えてアクシデントが起こらないように努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットの段階で対策を考えることで、アクシデントの件数が減ってきている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	9	0	3	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	0	3	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	6	0	6	0	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	11	0	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症実践者研修などを通して利用者に対してどのようなケアを提供していくか、事業所全体で考える機会を持つことができた。</li> <li>初任者研修 (旧ヘルパー2 級) を受講する職員が増えた。</li> <li>ヒヤリハット報告書を朝礼などで開示し、利用者の日々の変化を感じ、アクシデントにならないように共有している。</li> <li>会社主催の研修とヒヤリハットの啓蒙などにより事故防止に取り組んでいる。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所として職員全体のスキルアップのために各職員に研修への参加を促す、というところまではまだ至っていない。</li> <li>ヒヤリハットやアクシデントについての検討が不十分で、再発防止に繋がっていない。</li> <li>介護技術やレクリエーション、感染症などについての施設内研修はまだ開催出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員の施設外研修の参加状況を整理し、参加を促していく。</li> <li>ミーティングでヒヤリハット、アクシデントについて十分に検討を行い、再発を防止する。</li> <li>スキルアップのための資格取得を促していく。</li> <li>施設内研修を開催し、職員の知識や技術を向上していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 4 日 (16 : 45 ~ 18 : 15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 武田、加藤 (信)、長谷川、神保、飯野、小田、加藤 (美)、木村、加藤 (久)、樺沢、中沢、山内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	0 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者間の情報については全体ミーティングにおいて個人情報について話し合いを行っていく。</li><li>・身体拘束や虐待についてきちんと理解するために研修を行っていく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体拘束や虐待を行わない介護を実践している。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	0	0	0	12
②	虐待は行われていない	12	0	0	0	12
③	プライバシーが守られている	9	0	3	0	12
④	適正な個人情報の管理ができている	10	0	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・見守りを強化することで身体拘束の必要ない介護を提供できている。</li><li>・利用者が出来ること、出来ないこと、身体の状況などを観察し、接するようにしている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・個人情報の取り扱い、身体拘束や虐待に関する施設内研修はなかなか開催できておらず、必要な知識が不足している。</li><li>・ミーティングをフロアの利用者と同じ空間で行うのはプライバシーの観点から望ましくない。</li><li>・送迎の際、利用者が複数人乗車している場面の会話で悩むことがある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・送迎の際、他の利用者の情報は話題にしない。</li><li>・個人情報の取り扱い、身体拘束や虐待に関する施設内研修を行い、知識を啓蒙していく。また、同時に施設外研修への参加を促していく。</li><li>・ミーティングをフロアでなく別の場所で開催する。</li></ul>	

令和元年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 グリーンネット	代表者	代表取締役社長 鈴木 敏男	法人・ 事業所 の特徴	法人は高齢者介護、障害者支援、障害児ディサービスとともに認可保育園を運営。事業所の階下に保育園、近くに障害児ディサービスがあるため、世代を超えた交流を行っています。また、スーパーや商店、クリニックなどがすぐ近くにあるため、利用者のニーズに合わせ、買い物援助や理美容・通院同行も対応しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 コラージュ 二俣川	管理者	武田 輝美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	3 人	0 人	0 人	1 人	0 人	3 人	1 人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員の意識を統一し、一丸となって改善に取り組んでいく。ケアプラザに頻回に訪問し、ケアプラザとの連携を強めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に一度のミーティング開催が定着し、利用者や家族からの指摘はすぐにミーティングで話し合い、対応できている。</li> <li>二俣川地域ケアプラザが主催する会議に出席したり、利用者の相談をさせて頂くなど、以前よりケアプラザを訪問する機会は増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラザに行く回数が増えたのは分かったが、曜日等を決めて定期的にこちらからケアプラザに出向く必要がある。</li> <li>職員の勤務時間が合わないためミーティングに職員の 2/3 以上が出席することは難しいが、意識統一のため朝礼、申し送りノートなどを活用し改善に取り組んでほしい。利用者のやりたいこと、やって欲しいことを収集し支援に繋げてほしい。</li> <li>次回までの具体的な改善計画が多すぎる。順位づけし、優先度の高いものから 1 つずつ改善していくとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングだけでなく朝礼や申し送りノートを活用し、報連相を徹底していく。職員の意識の統一を図る。</li> <li>次回までの具体的な改善計画を整理、順位づけし、優先度の高いものから取り組んでいく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が事故の無い安全・安心な空間となるよう引き続き環境整備に取り組んでいく。スリッパに来賓用の表示をするなど、外から来られた方にとっても過ごし易い空間となるよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス感染症の拡大を受け、エレベーターを出た玄関外の棚にアルコール剤を設置して中に入る前に手指消毒して頂く、業者の方は玄関外で対応する、弱酸性次亜塩素酸水ステリプロ専用加湿器をフロアに置くなど感染症対策を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あんじゅ保育園に先に目が行き、なかなかコラージュが 4 階にあることが分かりにくい。1 階のエレベーターホールにコラージュは 4 階ですと分かりやすく表示する看板が必要である。</li> <li>車が置いてある場所のフェンスを活用してコラージュの大きなパネルを設置してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学に来られた方や通りがかった方がコラージュが 4 階にあることが一目で分かるよう、フェンスやエレベーターホールに分かりやすく看板などを設置する。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きパンフレットやコラージュ新聞を各所に置かせて頂き、興味を持たれた方に渡すことが出来るよう整備していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットやコラージュ新聞については必要な方の手元に渡るよう二俣川地域ケアプラザや近隣の薬局などに配らせて頂いている。</li> <li>・運営推進会議で頂いた意見を参考にパンフレットやコラージュ新聞の改善を続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より広範囲にコラージュ新聞を配布するなら、写真や文面で利用者が特定されない配慮が必要。</li> <li>・コラージュ新聞を旭区社会福祉協議会にも届けた方が良い。</li> <li>・パンフレットをもう少し有効活用した方がよい。自治会館等への設置を依頼してみてもどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載する写真や文面のプライバシーを考慮しながら、今までより広範囲にパンフレットやコラージュ新聞を配布、設置していく。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面を考慮し職員が地域のイベントに参加し、写真や出された料理などを持ち帰り利用者と共にするなど、新しい参加の形を模索する。ジョイナステラス、西友などに利用者と買物に出かけ、地域にコラージュを知ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお祭りなどのイベントに職員が参加し、撮った写真を利用者と共有する取り組みは継続して行っている。</li> <li>・ジョイナステラスや西友への買物も利用者に喜ばれている。近隣の基会所に利用者を連れて行く取り組みも新たに始まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョイナステラスや西友などへの買物は、利用を迷っている家族の方にこういう細かい要望も叶えてもらえるという宣伝に繋がるのでとても良いと思う。</li> <li>・散歩や買物を利用者が遠慮して辞退しないよう、うまく声掛けして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントの写真撮影による利用者との共有、ジョイナステラスや西友への買物は継続して行っていく。</li> <li>・コラージュの近隣の資源（今回の例で言えば基会所など）を活用して、利用者にどんどん地域に出て行って頂く。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の内容を利用者や家族に解りやすく伝えていき、コラージュの取り組みを知って頂く。小規模多機能に関する研修会に参加させて頂き、地域の方に小規模多機能に対する理解を深めてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で頂いた意見を即座に実行に移し、次回の会議でその結果を報告するなど、スピーディーな対応を心がけている。</li> <li>・運営推進会議で話し合った内容を掲載したコラージュ新聞を、2020年2月号より利用者、家族に配布している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは運営推進会議の取り組みが利用者、家族に伝わっているか不明だったが、コラージュ新聞に会議の内容を載せ、それを配布するようになったので、これ以降は伝わっていくと思われる。</li> <li>・運営推進会議で注意された事項に対して改善計画に基づき実施されており良いと思う。</li> <li>・運営推進会議に職員、また利用者が同席するのが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続してコラージュ新聞を通して利用者、家族に運営推進会議の取り組みを伝えていく。</li> <li>・運営推進会議に管理者、リーダー以外の職員も順番で参加し、会議の取り組みを理解する。また、今まで会議に参加して下さっていた利用者が辞退されたので、新たに会議に出席して下さる方を探す。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラージュ、保育園それぞれの避難訓練にお互いの事業所から何人か参加し交流を深め、合同避難訓練へと繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防立ち合いの避難訓練は継続して行っており、前回の訓練ではコラージュ下の道路にはしご車が入れないとの意見を頂き、ベランダに利用者を残すことなく車椅子の方も非常階段から降ろす訓練を実施した。</li> <li>・コラージュと保育園の避難訓練を行う時間帯が異なることなどにより、合同避難訓練は実施に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラージュ二俣川、あんじゅ保育園という事業所単位で努力する話ではなく、母体であるグリーンネットが先頭に立って話を進めないと合同の避難訓練は実現しないのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度でコラージュ二俣川が開所10周年を迎えるので、それに向けてグリーンネットが先頭に立ち準備を進め、合同避難訓練の開催に繋げる。</li> </ul>